公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 助教 1名
2. 所属 システム科学技術学部 建築環境システム学科 (本荘キャンパス)
3. 専門分野 建築構造分野
建築構造分野に関わる研究経歴または実務経歴を有し、建築物の構造安全性向上に寄与する研究や人材育成、県内の関連活動支援や構工法の開発等の地域貢献に意欲を持って取り組む方を求めます。
4. 担当授業科目 (学 部) 物理学実験、建築構造学概論、構造力学・同演習、キャップストーンプロジェクト、建築生産実習、建築学セミナー、建築学研修、卒業研究指導等の補助など
(大学院) 建築環境システム学専門セミナー、修士論文指導等の補助など
5. 応募資格 (1)博士の学位を有すること、または取得見込みであること
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 2026年4月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制(本学給与規程による。)
(3)勤務 裁量労働制
(4)任期 5年の任期制(再任は勤務成績により判断するが、再任回数に制限なし。)
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書(本学所定の様式1*による。)
(2)研究業績書(本学所定の様式2*による。)研究業績は、①学術論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの3編に○をつけてください。
(3)主要論文3編(URLの記載またはコピー可)
(4)これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む。)の概要(1,000字程度)
(5)教育に対する抱負(1,000字程度)
(6)研究・地域貢献に対する抱負(1,000字程度)
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
注 *印:履歴書(様式1)及び研究業績書(様式2)については、
ホームページ(<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>)をご参照ください。
9. 応募締め切り 2025年10月24日(金)必着
10. 選考方法 提出書類審査、学部選考委員会による面接(模擬授業を含む)
※面接はオンラインで実施する場合があります。
※対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問合せ先
提出先: 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 本荘キャンパス 教員選考委員長 西田 哲也
TEL: 0184-27-2000(本荘キャンパス代表)
郵送※1またはJREC-IN Portal Web 応募※2
※1封筒の表に「建築環境システム学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。
※2必要書類を添付してください。
応募書類は返却しません。
問合せ先: 秋田県立大学システム科学技術学部 建築環境システム学科長 菅野 秀人
TEL: 0184-27-2066(ダイヤルイン)
12. その他 本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画:

https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20250404_koudou03.pdf)

今回の公募で求める人材像

建築環境システム学科では、学科の研究教育方針に基づいて構造学講座の果たすべき役割と今後の発展を見据えた体制を鑑み、特定の専門分野に偏りすぎることなく、現在の構成員と協働して建築物の構造安全性向上に寄与する研究や教育、地域貢献に意欲を持って取り組める人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は下記のとおりです。

[教育]

建築環境システム学科の教育カリキュラム上、構造学講座の果たす役割は、建築物に対する構造的な視座を与え、建築構造に関する全領域をカバーした教育を行うことです。講座の一員として教育を行うため、特定の分野に偏らず構造力学から各種構造の設計に至るまでの幅広い構造関連科目を積極的に担当する意欲のある人材を求めます。

[研究]

構造学講座では大型構造実験設備を活用して建築構造部材や架構の構造性能評価を行い、建築物の構造安全性向上に寄与する研究を主要テーマに掲げております。大講座として実験や研究の際には講座全教員が協働し、各人の専門的立場からの知見や知恵を出し合うことで実験方法や研究手法をより効果的なものとしております。このような講座体制・運営に積極的に参画し、近い将来に発生が予想される大規模な自然災害に対して、強靱(レジリエント)な建築物実現のための研究に取り組み、将来的には第一線で活躍できる意欲的な人材を求めます。

[地域貢献]

構造学講座では、企業の要請に応じた共同研究や大型実験設備を使用した構工法開発に関する構造実験の実施、さらに秋田県内建築物の構造安全性の確保や、県内建築構造技術者の技術力向上に資する地域貢献活動も行っております。こうした活動を担い、さらに発展させて行くため、本学着任後に地域貢献にも意欲を持って取り組める人材を求めます。

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

建築環境システム学科 大講座・グループ構成

2025.4

基本方針： 建築環境システム学科は、4講座体制とし、

- ① 建築学における主要な領域の総合教育を系統的に分担し、充実させる。
- ② グループ内での課題共有意識を高め、さらに境界を超えた研究活動を意識的に展開し、活性化を図る。

構造学講座

●建築構造学研究グループ

構造計画・設計、構造解析・評価、鉄筋コンクリート構造、鋼構造、免震・制振構造
地盤・基礎構造

材料学講座

●建築材料学研究グループ

材料物性・耐久性評価、木質系材料・木質構造、コンクリート系材料・工法開発

環境学講座

●環境計画学研究グループ

環境設計、物理・生理環境評価、設備計画

計画学講座

●都市・建築計画学研究グループ

都市・地域計画、建築史・伝統構法、都市・建築設計、建築・施設計画
都市環境・情報システム